

授業科目名	特例・保育指導法	単位数	1
担当教員名	檜永 卓三	担当形態	単独
実務内容	「特例・保育指導法（表現）」小学校教諭として勤務経験を持つ教員が、表現における指導計画の作成、保育指導案の作成、授業デザインについて指導する。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>幼稚園教育の重要性とその意義等、主に「遊び」を通じた学びの関連性に着目しながら学修するプログラムである。自学自習やスクーリング時のグループワークやいくつかの代表的な素材(自然物・人工物)との出会いの実技を通して体験することにより、本学ディプロマポリシーのA～Fに関係している。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 幼稚園教育における遊びと学びの関連性や重要性について具体例を基に説明できる。</p> <p>(2) 領域「表現」のねらいと内容について説明できる。</p> <p>(3) 「乳幼児期の表現の発達」「保育者の援助の基本」「幼児期の表現の実際」を柱にして、幼児期の表現に対する保育者の援助の在り方について具体的に説明できる。</p> <p>(4) 「豊かな感性や表現する力」「豊かな創造性」を育むための幼稚園教育の保育内容の指導法について説明できる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>幼稚園教育要領における領域「表現」のねらいと内容について理解し、乳幼児期の表現に関する発達について学修するとともに、幼児期の表現に対する保育者の援助の基本的な考え方や、遊びが学びに結び付いていくための具体的な指導法について考究する。また、アクティブラーニングの手法も用いて実施。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：幼児教育の基本</p> <p>第2回：領域「表現」のねらいと内容</p> <p>第3回：幼児教育における遊びの意義</p> <p>第4回：乳幼児期から児童期までの遊びと学びの関連性</p> <p>第5回：表現の発達の特徴</p> <p>第6回：表現の発達の特性個人差</p> <p>第7回：子どもの感性</p> <p>第8回：子どもの表現意欲と表現力</p> <p>第9回：創造性を豊かにするための指導の在り方</p> <p>第10回：表現に関する指導</p> <p>第11回：遊びを通じた総合的な学び</p> <p>第12回：遊びを援助するための環境づくり</p> <p>第13回：用具や素材の特性</p> <p>第14回：表現活動を促す環境構成</p> <p>第15回：年齢に応じた援助の在り方</p> <p>定期試験</p>			

スクーリングでの学修内容

幼児教育の基本と表現の特性・ねらいを理解し、表現と発達の特性に応じた指導の在り方の習得を目指す。また、感性を育む指導と援助の在り方について遊びを通じた具体的な指導法をさぐる。さらに、年齢に応じた用具、材料等環境整備についても習得する。また、アクティブラーニングの手法も用いて実施。

(全てスクーリングで行なう科目なので第1回～第15回をスクーリングで行なう。)

教科書

(1) 文部科学省『幼稚園教育要領』平成29年3月告示 フレーベル館

(2) 幼稚園教育要領解説 平成30年3月 フレーベル館

補助動画教材

楽しい造形ワークショップ①～③

https://www.youtube.com/playlist?list=PLwrsvYhJb8rKKLwM-kh2_e8T9Ozs-VtDt

参考文献

特になし

学生に対する評価

スクーリング評価(50%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。